洛

星

の強行可決、機動隊学内駐留などいる。

の「危機状況」を大学臨時指置法。甲書重視が大幅にとりいれられて「ストレートに矛盾の解消につなが」であろう。

るかは極めて疑問である。

る全国学園闘争のもたらした教育。四十六年度人試要項には、①の内

一八八十八九年の大学―高校に至一月二十四日に発表された文部省の

の強権行為によって『乗り越え』 つまり、現在のところのの統一

て来た政府文部省は、この機会に「テストを実施するのは各大学の独

教育制度総体の<抜本的改革>を「自性の主張や、教育の中央集権化

目指しており、その一環として各に反対する世論(能研テストの不

間機関を通じて「入試制度改評)などを考慮すると難しいとし

|て内甲書重視ー学力テスト廃止-|において「七・三教育」として現には、富山県の「七・三教育」の「うような多くの疑問点があり手放

も有している。この懸念は當山県

よる在学中からの適別の可能性を「す」ことを目標にしていたことに「理化する試みをしただけ」(東大

田来している。そして後者の背景一西村秀夫助教授)ではないかとい

場合と同じく「企業」の問題が大しで評価することは危険であると

「進路指導」「適性指導」の名に | 能力水準以上の者に高等教育を施 | な姿勢は変えず、選技の方法を合

解放といった肯定的側面と同時に一般競争の緩和」と同時に「一定の上から順に速接するという基本的

内中書重視は、受験勉強からの|教審の「改革案」がもともと「受|志願者に好ましざの順位をつけ、

この肯定と否定の両側面は、中

結局、これらの改善策は「入学

|目指しているのであるが、それが| 一層の分断と競争の関係を生する|が発展のカギになっているのであ て受験報当一競争を緩和することを一の違別・管理体制は生徒の間に、一かに効率よく労働力を獲得するか

各大学合格者数一

一昭和45年度

れてはならないであろう。現在、

言くからんでいることも見逃がさ言えよう。

来年度からの入試展望

日の統一、③浪人受験制限などの

裏、② 全国統一テスト、試験期

継ぐものと言えよう。

|的に大学の | 近代化路線 | を受け | 実化している。また、内中書の素 | 企業は国内労働力の不足、アジア

行欄の存在は、生徒の活動に対す一市場の開発、国際競争の激化など

これらの政府、大学の入試改善る総付け=強化された管理体制への問題を抱えて人材の確保を要請

の可能性を暗示している。これらされており、教育過程においてい

の具体的な方法として、①内甲書

これらの審議では「入試改善」

施策がとりあげられているが、 五

策は、全て内申書道視などを通じ

ていよう。(本校からの進学者に

で切り崩されつつあることを示しからの人試に大きく影響しよう。

らの「有名大学」に対する幻想が一談」(小川芳男呼長)の二つで両 と例年になく低く、受験生のこれ一助言機関である「大学入試改善会」 が、それぞれ二・二倍、二・五倍「月入試小姿発足)、学術局局長の に立つ東大、京大の入学競争率一番議会人森戸辰男会長、昨年十一

て行なわれた。今年度は「頂点」 各地で三月三日から数日にわたっ

文相の諮問機関である「中央教育

革案の密議にあたっているのは、

国立大学一期校の入学試験は、

45年度



新 5

印刷網吉川印刷工業所

勝孝▽書記長・服部順一の三君」いるのであろうか。

昨年の東大の入試中止などを通じ|著の最終的な答甲が出れば来年度| 案が出された。この改革案は、内|予算・決算を承認されなければ活 現在、文部省下で入試個度の改一統一テストという方向で実現にも 甲書の活用による入試方法の合理 一次試験を学力テスト、第二次試一多務の執行ができないとき最も困 一行なっており、東大では二日に第 化なども盛り込まれており、基末 験を論文デストとするという改革るのはクラブであろう。つまり、 | 員会を設けて入試制度の再検討を||生徒が少ないのは全国的な傾向の っていこうという意図である。 一方、各大学でも独自の調査奏 ようであるが、生徒会が発足せず 则に支障を含たすことが多いから ことになる。 現在、生徒会役員に立候補する

そ三週間の事務空首期間があった 自で任明切れであったからおよ 四十四年度後期生徒会が四月二一べたことを要約すると

くことに努める▼そのために、 とり入れて活動の方針としてい の中にある日常的な意見を常に 構改革に着手し、一般生徒会員 ある。したがって、執行部の機 雕していることが生徒会の盛り 上がりをなくさせている原因で

は▽会長・山田遠徳▽副会長・佐ることは今述べたことに関係して 従会執行部が発足した。メンバー

名が三名ともに運動部の部員であ

ラスにおいて、生徒会に関係し活 五月十三日、四十五年度前期生一である。とすれば、今回の幹部三一が多いと言えよう。たとえば交グ 彼らが十二日の立会演説会で述一る。(もちろん、このような悲観

実が示されている。)

として委員会制度を用いる。こ一らず、また独走の条件をつくって「委員長・近藤善弘、服部順一、 広く討論の場を設け、その一端 製行部の独走は絶対に許してはな 〇文化祭特別委員会

自由に意見を発表してもらう。 しかし、委員会制度をとったと 会長

動しているものが多くとも十人を 越えない程度であるようにであ しても人間が集まらなければその 意識は遠せられないわけであり、 在の状況から見ればその可能性

▼執行部と一般生徒会員とが遊し切ったびかさなる流会によって事 が我々生徒会員の前に、また執行一祭特別委員会▽規則問題委員会▽ が、その問題を解決していけるよる。このうち、活動できる段階に 部の行く手に現われるであろう。一高校生間運研究委員会の三つであ 論はいけないのかもしれないが後 最後に、これから多くの

問題

「で承認されている委員会は

▽文化 体育委員長 会計委員長 無任所委員 0

ていかねばならない。というのもる。

副会長

文化委員長 風紀委員長 **麥** 喬 畜 亩 器 쎭

うに我々会員は執行部をもりたてあるのは文化祭特別委員会であが、より多くの人が参加すること

れはクラブに入っている人の便はいけないからである。そして執 宣を考えて屋休みを中心に開き、行部の力は会員の協力のあったと きに最大となるからである。 [四十五年度後期生徒会執行部]

国府俊一郎 2 B

二十三回総合体育大会が開かれた一されて終った。

五月中頃京都府下の各会場で第一結局自称『恵新派』の候補が六選

以前から問題のあったグランドが良い。」という声があったのだ

たのである。

保守派は、京都の公立校の教育

守的な洛星の中からこんな声が出

ついて「知由選では革新派に勝っ

てもらった方が洛星にとって都合

ところで、洛星ではこの選挙に

ていくだろう。

で話しあおうというもの。 をもって復興させるためにみんな 中止された文化祭を、新たな形態 時間切れで

○総体開催さる!

「昨年の文化祭は、何回も総会を 委員長の一人である服部君の談

現在(五日)までに評議委員会一たな発表の形態(文化祭)につい は去年の事件を出発点として、新 がある以上、多くの人たちがいろ し、我々の間に不満があり、若さ て話し合っていくつもりです。」 いろなことを発表したいと思うの 時間切れで中止されました。しか 開いて話し合ったにもかかわらず は当然と言えます。この委員会で 以上のように服部君は語ってい でのクラブ活動の側り当てについそうだ。府教委主催の討論会への 成績を上げられなかった。 るとともに深刻化した。 ての不満は、スポーツの季節になるかれにすら許可をしぶるほどの保 〇グランド問題深刻化! が、全体として洛暴はあまり良い ○食堂への不満高まる!

らもつくられることが予想できる る。このような委員会がこれか 見張りを出すという有様となった。大阪の教育をほめたたえていたこ 出、補導部はあわてて、屋休みに、天合格者の多い学校を例にとって う事で校外へ食べに行く者が続一程度の低さを攻撃し、北野など京 洛星の食堂がまずくて高いと言

〇新生徒会執行部発足!

とから見ても、彼らの理想は京都

の公立校を有名受験校に作り変え

ある。そうなれば浴星の合格率が

「洛星」をいくつも作り出す事で 学校」なのである。つまり京都に

答らる事は必死である。一方、革

新派は受験教育を否定し、

もっぱ

ら、自由教育。を推進している。

当然大学合格率は下がる。

の席もやっとうまり、何とか。洛 長い間空白をつづけていた三役 をとりつくろうことる事である。それが彼らの"良い

によってより充実した機関となっ

の万博見学は中高とも中止すると ○大場者が多いため十分な見学が 考えていたが、実地調査の結果かなことを避けなければならない。 〇雨天の際の集合場所に適当な所」るほど価値のあるものとして数節に歩いていても非常に疲れ、それ いた六月二十九日と七月二日間日一があるかどうかという事である。一ており、生徒がそれらにそうぐう いう発表がなされた。 去る三日の朝礼で、予定されて | 側が最も考えるのは、教育的価値 | ろ会場ではボヤなどの事件が続い | されたのである。 期待できない。 ら、全員が見た方がよいと思われる、医学的な面から言って、普通しは、市販のガイド・ブック等は持ち、結局は少数のエリート生産主 でちょうどよい機会ではないかとものになってしまうためそのようしちちろんかまわないわけである。 誌・歴史また風俗などを知るうえ。また先生方の責任も非常に重大な一止ざれたが、個人個人で行くのは教育をしようが何をしようが黙っ かぞえられていたが、いずれもいが知首に持ちこされた場合、授媒とな考資料がでく少量ではあるして洛星の京都の公立校に対する 当初、委員会は世界各国の地した場合の十分な管理ができず、

学校行事としての万博見学は中は少しも影響しない。洛星が受験

けっこうな方針があるので浴星に

るためそれを尊重する。」という

ての学校 独自の 伝統や 校風があ

おまけに革新派は「私立校には

て目をつむるというのである。革

が行なわれ、我校からは十二クラーなお予定していた軟式アニス部一が遅れたためようやく三月中頃に一考えられない。 は雨天のため無期延期となり、硬一なって全生徒に発表された次第で あった。 と七月二日の両日が割り当てられまた一方、待たずに入れるようなない。 たが、協会側からの資料等の提供、ところはそれほど価値があるとは
5、昆食時に、食堂が十分用意さ その結果、本校には六月二十九日|そのため結局は価値がなくなる。|所として遡当なところが見当たら 博委員会なるものがつくられた。 **階協会に見学甲込をする一方、万一て、会場滞在の時間が少いためどれる。** この万博見学は昨年十一月頃か一少なくとも一時間は待たねば見らった、当日時れた場合、夏であるた れないほどであった。それに対し一め日射病の危険性も十分に考えら うしても十分には見学できない。

るいは予定している他校の経験等 2、少なくとも六百人もの生徒が 6、非公式な調査によれば、中学 立名の先生方が二回にわけて実際一ず、統制するとともできない。し一学しても意味があまりないと思わ と会場を見学された結果、次のよ たがって、どうしても会場では数れる。 その問委員会は見学をおえ、あ 一度に行くのであるから、引率し二、三年の七、八十%もの生徒が 人ずつのグループ見学ということ
以上のことを検討した結果、先 て見学することはとうていできずでに一回以上行っているため見 らいって授業をつぶしてまで行くところが見当たらない。そのため したがって、教育的価値の面かにしても、「4」と同様に適当な れていない。また、弁当を食べる 非常に不便である。

4、当日が耐天の際には、集合場 | 万博見学中止に寄せられた ような話をされたそうであるし、 〇楽しなにしてたのにナア 声の抄録 〇始めから、 〇残念!授業が二日多くなった てばかげて

わゆる。人気館』となっており、にさしつかえる可能性が多い。まが、仙元先生のてもとにあるそう。慢位は動かしがたいものになる。 これから行こうと思っている人。新派がいくら自由平等を説いて っているだろうが、委員会の集め、義を黙許しているのである。こう なので、見せてもらいたい人は行。洛星にとって革新府政の方が都合 新購堂が使用されたという事実も う。現にある先生は授業中にその また、革新派の润説会場に本校の が良い、といわれるわけであろ

ってみて下さい。

0

〇とれがアタリマエだノアンナと 何にしても、今年、大方の予想 と行って何になる。ツマラン!|を裏切って七十一人もの京大合格 ったから別にどうも思わない。|る事が出来そうである。我々にと ろうと思ってた。期待してなか|今年のように京都のトップをしめ どうせ中止になるや一者を出した洛星は、この先四年は

〇試験前にあんなとこで遊ぶなん一っては喜ばしい事であると言える いる。勉強した方がだろう。

洛星

〇万博見学中上に決定!

は種々の事情から中止となった。 二日間予定されていた万世見学 の動き

どった。この選挙も びもとの降けさにも を消し、京の町は再 宝選の宣伝カーも姿 走りまわっていた知 長い間やかましく

東京医科歯科大 5

北大

神戸商大

京都府立医大 京都上繊大 5 1 0 4 3 東京外大 北挺道大 极浜国立大

No. 8 3

早稲田大

関西学院大

16 19 32

13

2 (2) 3

1 0

成蹊大

1

京都府立关

10 12

大阪工大

2 0

大阪導大 京都築大

1

三回京都府高等学校総合体育大会一残念なことであった。

五月十六日を中心として第二十一下級とも二回戦で敗退したことは

第23回 総体行なわる

ブが参加した。

0

横浜市立大

東京大

9 12

立命館大

7 1 大阪大 九州大

0 1 1 0 I 東京工大 大阪市立大

1 九州芸工大

上智大

(注・カッコ内の数字は、

数のうちの浪人の数)

歌では一年四百メートルが! 一位、

0 1

下級も準優勝であった。陸上競技一面)

| 野上級は前年に続いて連続優勝し|なわれる予定である。

(記録は四

今大回において、パドミントン|式テニス部下級も六月二十日に行

一部、パレーボール部もベスト8 し、パスケットボール部、サッカ

しかし、ハンドボール部が上級

三年走高跳が三位にそれぞれ入賞

学校行事として行く限り学校一になってくる。そうすると、近ご日の職員会議において中止が決定

の。安保粉砕ノ万博粉砕ノ

万博は安保をごまかすためのも

洛

(2)

長浜勝利

現在、高校教育の"受験教育"化に伴う諸矛盾が全国

図・今後の展望等について執筆の労を願った。 学教育を意欲的に推し進めておられる長浜先生にその意 その様な中で本校において〈仮設実験授業〉による科

(編集部)

るような授業プラ

なものの考え方を

第三は、科学的

「対空砲火があってUターン

こともわかった。

ここ十数年来各国で検討され、新 トルで文章を書けるだけの(仮) で理科教育の方法論について話し しい教科書が続々と誕生してきて一への理解と実践をもち合せていな いる。そんな中で、僕が「仮説実 いので、以下、僕が共鳴している 第一は、(仮)研究会が、「科 (仮)とは何か」というタイ あげていく」(仮 みんなの手で作り

第だ。その入門書を読んで、僕はとは質の異なるものであった。僕 か」とすすめられて読んでみた次。団の力でやるにしても、僕の考え一こと。そして、特 があるから、それを読んでみない一会の目指しているものは、同じ集 私のいう授業法の正しさの実証例一謝している)しかし、 わけにもいかないので、もっぱら て授業をしていた僕は、それまでい、すでにつくられている物理の 般法則をまず教え、そこからい その実験の結果からいろんな ((仮)を知ったのはこの会にお いう万法を意識的にとってきた。 僕は大学時代から、自分の弱さ (仮)研究

だということです。 教えられるようにすることが大切ったのは、ここに起因するのであ 支配する法則を見出して、かなら(仮)は、帰納法と演繹法の統一 いか、というのです。たくさんの「授業内容をつくり、授業運営法を さんの教師が協力をすれば、このいくという過程で行なっていると ずしも十分の知識をもたなくてもした方法論にもとづいているとい と自分自身の専用プランでやって「的実験にある」とし、それがその た、一人一人の教師が、こっそり的に自然に問いかけていく、主体って、解決するより仕方がないの一拠が、予想、仮説をもって、結極 たしたちは、たくさんの集団でも一の点を重視し、「科学的認識の根 人の協力で科学教育というものを一定式化しているのである。(先に いたのでは間にあわないのではな。まま、授業で実現されるように、 難関は克服できると考えます。
わ いと考えております。しかしたく」ことを続け、仮説を法則に高めて「り、常識や直感を狂わそうとして」る授業と感想を述べている点であ いくら勉強しても追いつきっこな「釋し) それを突験で確かめていく 「くいちがう現象をみせようとした」「ほとんどの子供が面白くため」「な 信用できり、仮説実験授業と名づけられて いうことがわかる。(仮)は、こ

ての認識の発展 のに、どうしても されるだけでな 目然の諸法則を認 の、いや、理科だ 上く生きいく 識するのに必要と かかげたいと考え 区」をどうしても つのではないか、 育成するのに役立 く、この社会で、 てきた。それは、

り入れたいとまで思うようになっ。人と勉強することであります。教一ろんな団体の、共通の主張になっ。理等による認識が、自然の法則性一自身について見ても、真偽の判断 一貫しております。しかし、わた一をたて(帰納し)それをもとにしという認識である。ところが、も ひもとくと、科学者達は、そうし認識であり、「自然窓下における」り、あせってイライラしたりする。論的基礎を述べているのは、国土 ているのでめずらしいことではなと相反する場合が数多くある。歴がつかなかったり、現状をよりよんあるが、入門書として面白いの 念や法則の教育の重要性は、「理く、我々の直感や常識、それに、単に達せられるものでなく、我々る。 まれ、授業の運営法が考えられて、た認識をしてきた。歴史上有名な判断力を育成するのに貢献するの ものは "天動説" であり、"軽 ではないかと、考えている次第で一僕と(仮)とのかかわりとして考

な問題になると、事実をおおいか いるわけではないが、こと社会的 くすために、それだけでなく、本一当るかどうかドキドキしながら実 る。 面白さの内容も、自分の予想が

いるゆえんであって降りたら、金浦だったとか、一ととを単に評論として終らせない けをとり出して強調したりする。得できた面白さ、それに、なるほ ために、一意図的に種々の現象をつ一支持者をふやそうとして、相手を | 実に相反することを信じこませる| 験する面白さから、自分の予想の 例の日航機乗っとり事件で「こち 春休みに経験したことでいえば、 し、更には、全く、何の飾りもなどナア。とうなりたくなるとうな にやっかいである。例えば、この いデマさえ流すから、問題は余計 ら平壌」というサインに誘導され くり出したり、都合の良い現象だ一説得するために考える面白さ、説 ために、僕自身が今後、(仮)と とを書いてきた。ここで、以上の 一意見を聞く面白さなど、様々であ 以上、雑感と称して、勝手なこ

みせる。そんな、考えるゆえんである。そして、成に哲与するため、独自のプラン という点である。
|ショッキングな事実である。この|まで(範囲においても、質におい ものの考え方の育るビラが、相反する内容を事実ととれを、どこの段階までやれるの して、「科学的な」た。この場合は、二つの会からで「入門教育」と位置づけているが、 育の目標の一つとれたものとして、知事選があっこと。板倉氏は、(仮)を「科学 けでなく、学校数 せてくれた。もう一つ考えさせら でそれが可能なのかどうかという 僕は、理科教育ことは、『乗っ取り』そのものとしても)つくり上げている段階であ のかの判断ができない場合は、片 |(仮)は、その内容と連営法にお|を作るなり、他の人の試案を採用 力、一つ、あるいは、二つ以上あ加わって、まず、すでにある機築 扱く力が自然科学の探究だけでな。めた。)をして、不十分な授業書 る情報を、信用するかどうかの判 正しい判断を下すととのできる。されている。僕もそうした仲間に まった常識や直感をのりこえて、 困った事態になったのである。以 かりで……と無気力になるという | 学校で使用している授業書、ある 方を育信したり、どっちもデマは「に何人かの、中・高の先生が、小 ませた。そして、どちらが正しいに、少しでも貢献するために努力 して報道し、いくばくかの人を悩か、ということである。この課題 同様に、僕に多くのことを考えらる。問題は、中・高等学校教材 た」と報道されていたのに、対学 生言のいていくために、必要だと く、世の中を正しく自信をもって一の改訂に寄与すること。 断、ニュースや主張の真実性を見 上、現象と本質のくいちがい、四 は、金浦では、平壌だと思わせる 砲火はなかった、とか……更に いて、いくぶんなりとも、正しい ような偽装がされていた、などの するなりして、授業を行なうこと。 書での授業経験を積もうと思う。 いはそれを改訂したものを使って 校教材の授業書を、かなりの程度 としているのかを書いてみよう。 どういうかかわりをもっていこう のプランを試案として作って実践 実践されているし、あるいは独自 したいと思っている。現在、すで (とれば、今年度から本格的に始 次に、中学校教材の授業書の作 以上を、この一年間の当面の、 (仮)研究会の現段階は、小学

ことが多いことからして、その選|社「仮説実験授業入門」(庄司著 めに、盲信したり、あきらめた。育」(板倉著・三二〇円)その理 顧の重要性を暑にしみて感じてい・一、八〇〇円)季節社「科学と (仮)についての文献はたくさ (板倉著・八〇〇円)な (九七〇・四・土〇

ことがあります。」 さい。割付けの都合で短かくする 投稿には原稿用紙を使用して下 (編集部)

山中啓

之

りく戦争がくり広げられ、多くのげればキリがないからこのへんで 罪のない人々が殺傷されている。やめておく。 えばベトナムでは今だに激しい殺行動。このように具体的な例をあ れはほとんど守られていない。例力を持った何らかの機関の実際的 らない。」ということは、相当前であのような無謀な事態にまで発 だが私が見る限りにおいては、そ一億に新しいことである。第三に権 から言いつくされてきていること展させたことは、多くの人々の記 「人命は、尊重されなければな「浅郷な考えがナチス=ドイツをし

やもすれば悄性的な方向に流れ、一般参考までにと思ったからでもあ一す。だから生徒総会なんかはナン「にあってどうすればいいのだろう 激しい怒りをもたねばならない。 結果を待ち受けているのである。のためには、個人個人の心の中に 自分にあまり関係ないことはどうるが、何といってもこの「洛星高 あげれば、キリがない。このような 魔の解決には何の役もたたないと一物を言うと、それは「私たちは、 正な事や非人道的な事に対しては一道は遠いように思われるが、努力 についても大いに関心をもち、不いのである。それはむつかしくて 般にその傾向が強い)が恐ろしいらないと痛感したからである。そ このような無関心さ(文明人は一け改善選歩させていかなければな を媒介とし、 しても無関心になりがちである。一校」という一つの社会をできるだ。そしてクラフ しめられている。このような事を一てくるのである。 しなければならないが、我々はや一理田は、読者の方の注意をひいて 人命軽視の風潮は、もちろん阻止。わけのわからない事を並べたてた。| 人を削しようとして血みどろの状 | 当もないではないが……。 しかし、そんな事をしたって問 すればできるものなのである。 とのようなあまりにも当然な、

要がある。第二に良識ある人々のための一例、いやその根幹となる とによって少しずつ改善されてい。間」という定義についてはここで一解決の場になったり、受験勉強に、る。そしてガタガタと話し合って 言う人があるかも知れないが、そ人間になるように努力せねばなら かつてドイツ国民のものとして文頭に「生命の尊重云 は省かせてもらうが、それは真に 々」なるものを発表したのであ、理を用意しておくべきだ。 私の批見を 多い人生に期待をかけられてる方 た。このような時期に際して希望 る態度か。」とブツブツ言われ、日頃から、いわゆる。無関心層。 「やかましい。それが授業を受け」ってしまう。そうならないために 0 0 **\rightarrow \quad** の論理を打ちやぶる君達自身の論

みたいと思う。 れに対して、 毎時間のように

言われていた。

を

| 学校の勉強さえキチンとやってお ゃべっている」と各投業の先生に一である。ある先生は言われる。「 頃やかましすぎる」「一時間中し」の基底におかなければならないの な気持ちが我々を支配している。一目分におかなければならない。自 い」「どうでもいい」というよう」は受験勉強において物事の基準を これはまぎれもない事実である。 いる。何をするのにも「やる気がな」はうつろに勝くだけである。 我々 高校生になって間もなく、我々しかし、現実はそんなにあまくは さて、我々が高一の時、「このる利害を全ての行動への価値判断 令 我々は頻廃的ムードの中に一くる。しかし、我々にはその言葉 僕は僕なりに考えて一げは、とりたてて受験勉強をしな 分の利害、即ち、自分の勉強に与え くてもいいのではないか。」と。

をもたらしている。また、海外だる。即ち「私権」の横行である。らば、その競争に勝たねばならなだけではないか。 けではない。国内においても毎年が、これも結果的には先に述べた 多くの心ある人々に深い憂慮の念 | 宇段を選ばないという 風潮があ | とも我々が大学をめざしているな |をとらえずして、現象を見ている 性となり、利潤のみを追求する企一ことにつながってくる。それはひ 一万人以上もの人が交通戦争の議とおり、生命そのものを軽視する えもせずに自己の利益のためには、その競争に負けてしまう。少なくか。我々の裡に根ぎず問題の核心 一般いであるのだから、少しでも他はない。ただ、もっともだと思う に関係のある科目を重視し、そうから現実と完全に一致はしていな 功利的に物事を考え、自分の受験る。これは僕の分析・解釈である い。だから、 と家の間を往復しているだけでは「けろ」とか馬鹿げたことではない われてくる。 競争であり、 そういう中で我々は

我々は、たとえ自分に関係ない事それを芽生えさせなければならな。遠をあざむこうとして、自分は何それが唯一の対処方法だ。何故等 最後にこの一文章の結論めいた|にあっては何ら心を安めることな|と確信している。 ったりする。毎時間、先生は我々にて、にっちもさっちもいかなくな く表面的な事柄に一窓一憂する日 たり、敵を油断させるためにふざ一全な答えを示すことはできないが も勉強していないとふいちょうしえるのだ、と問われても、僕は完 あざむくのも戦いの作戦の一つだ一のである。勉強に忙がしくても、 センスという事にもなってくる。か。この現実に埋没していってい 備えてのエネルギー供給の場にないくうちに、方法論にのみ終始し 陥る。それ故に、授業は欲求不満 るにつけても無関心層の事を考え 常の中で慢性的精神不安定症状に「諸君にも言おう。君達は、何をす けてみせる。 から、少なからず敵=クラスの友」だまされたと思って考える事だ。 への友達は、

受験勉強

いのだろうか。

結局は現実を受け だから、我々は学校一考える事こそが自分を生かす道だ 「敵」となる。敵をとめてどう行動に移すかが問題な 最後に、特に洛星の活動的生徒

も多いと思うが、そのひとときにら、この文章を書くこと自体がそ がいま、私たちの目の前に訪れ、文章を書いてしまったが、実を言 る。杉の花開き、風うるわしい番(ダラダラと、かなりいい加減な 読んで参考にしていた。れに対する僕のささやかな抵抗な り酔っているのだ。自分でも、こ うと僕自身、頽廃的ムードにかな

り幸いである。

た。今ではその公立の先生より僕、師が自分の教えることについて、 の方が(仮)が好きになり、彼の 力がその欠陥を指摘し、僕が弁護

す。

多くの科学教育の研究団体

Na

83

知りつくすということでありま

するという風に立場が入れかわっは、この道をすすんでおります。

いくつかの現象を予想し(演とより自然は「意識して」本質と

しなければいけない。という声が

した方法論にもとづいている。てしはそうは考えません。教師が一て、

科学技術の時代といわれる現代

夏) という方向で 研究NO16、9

学の先生によれば「何か実験をし」点である。集団の力で組織的に。 時入会したばかりの物理の勉強会一てみようと思う。 聞いたのは、一昨年の夏休み、当一て、日頃考えていることをまとめ 験授業」(以下仮と略す)の名を一点について雑略という形で書い 合っていた時である。ある公立中一学教育の科学化」を目指している にそうした授業プ 解決しょうとして して、現在、すで いるのである。そ

であった。当時現行教科書にそっ」うとしたのもそのためである。幸 実験で確かめていくという演繹的一を感じ「もっと勉強しなければ」 のような帰納的な方法ではだめで一ために、グループで協力し合うと ことを導き出すという現行教科書や、個人の力の限界をのりこえる 反論していたが、彼に「とにかく」いてであるから、二重の意味で感 な方法をとるべきだ」ということと思った時、まず勉強会をつくろ ろんなことを予想し、その予想を一教師になって、授業の行きづまり の自分のやり方を簡単に否定する一勉強会をみつけそれに入った。

で、自分もなんとかこの授業をとは、「……一つの道は、教師がう一科教育の現代化」を考えているい。科学的な考え方にもとつかない論 を読み、大阪でやっている研究会対し、(仮)研究会は、その提唱 学生)の反応に共鳴し、何冊かの本一という方向で集団に依拠したのに 授業を受けた子供適(主として小一の教える内容について知りつくす あり方。についての考えや、その一を、自分がもっと勉強して、自分 (仮)のかかげている。科学教育のは自分の理、科教育の行きづまり にも出席し授業も見せてもらう中 者の板倉型営氏のことはを借りれ

はちがった現象を

て、我々に本質と 自然は、時とし えるからである。

必要とされると考

おいているという 念や、法則の教育 学のもっとも基礎 も、四国でも理科 れており、それを ランが、小学校段 に、それを実現す の重要性を前面に 的で一般的な諸様 ですすんでいる。 るというところま な成果をあげられ の専科の先生でな 使って、東北で くても、同じよう 階でかなりつくら 第二は、自然科

てしまった。また、後でも触れる一教師が無能である。教師を再教育一た概念や法則の認識を、疑問一子、単位時間あたりの落下距離が、1 能にするかである。科学の歴史を一般いものより遠く落ちる」という い。問題は、それをいかにして可・史上有名なものは、「重いものは 想―実験のくり返しの中で、仮説、2、3、の自然数の比をなす」 いる点である。 るために科学的な 認識論にもとづいて、授業書が組といってよいほど、きず、觀まっ 時、人間は、必ず

るような次第だ。 子供達が接続に熱中しど。

の一生の課題であると思う。自己

結集と行動。

我々のなすべきこと

死している。このような影態は、 またピアフラでは多くの人々が飢また、最近、他人の事などを考

業のために多くの人々が公害で苦いては人類全体の不幸につながっ一でないものに

く改革していく展望がもてないた。は、国土新書18「未来の科学教」特に家庭において他人の人格の尊ある。即ち、表面的にだけ「人 となる一種の哲学を植え付ける必もすぐにわかることである。その さというものをすべての人々が充ないが、実際には真の「人間」な りない。結局、人間の精神の根幹は、目のまわりを見ていただいて 重といったようの教育が是非とも間」という一種の般をかぶったも 分に認識すること、このためにはるものはほとんど存在しないので くのではないかと思う。 ういう気持ちを多くの人がもつこない。」ということである。「人 必要であるが、それだけでは事足のが、いかに多いかということ か。まず、第一に人間の偉大さ、寡うと、不思議に思われるかもしれ **操体的にどんな事をすればよいの間になるように努力せよ。」と言** では、人命を尊重するためには「価値ある偉大なものである。「人

我々は今…… W

おこってきた。受験は点数を争う一決してない。それをただ、「やか なければならないというムードがしているのだ。授業オンリーでは の中に勉強 (特に受験勉強)をし|ないのである。 だれだって何かを ただのうのうと学校一ましい」とか「まじめに授業を受

態となって勉強にファイトをもや 又一方、この受験=度を肯定しようとしているわけで は軽視する傾向があら

いだろう。

又、

僕はこのような態 では、我々はこの様な日常の中 以上のように僕は分析、解釈す

新

スピリット ナ・スピード スタミ

久保田和昌

神が要求される事である。今記し されるかなり激しいスポーツだと れるスタミナとスピードが必要と の広いグラウンドを縦横に走り回 憶している。今一つの特徴は、あ れてサッカー部に入ったように記 たスタミナ・スピード・スピリッ いう事と、スポーツマンらしい精 「の三つをサッカーの3Sと呼ん サッカーというスポーツの特徴 する 事は むずかしいという事 ばくはそのむずかしさに引か まずルールはやさしいがプレ 対洛北戦2(2010)1洛星 村が山田とのコンピネーショ H・B西村・久保田もいいマ 人っても一進一場だったが、 前半は守っては桜井の上芝マ 「を決めリードした。後半に -ク、三木の藤井マークがほ

Sを身につけることを目標として いる、まずスタミナの面で は長距離を走ったり、イン 我が洛星サッカー部は、この3

同点。

十五分頃混戦から決められて

星

スピードはいろいろな種 ターバルで訓練している。

ティングを数多く開き、ま そしてスピリットは、これ て獲っている。 たアンケートをとるなどし がクラブ活動では大変重要 で体得しようとしている。 類のダッシュ、練習中ボー ルに素早く身を寄せること に思うが、出来るだけミー

> た。勿論、テレビ中継があれば殆 ものを考えるようにもなりまし

対東山戦3(03-20)2洛星 る試合から分析してみると 以上あげた面を次に上げ

で一点とられ、浮き足だった りできていないうちにロング

8 3 No.

> 早くF・Kから相手F・Wに る力を十分発揮し、強豪洛北 た。この試合はなんなで出せ クリーンシュートを決められ

とられた。しかし後半の中頃りには、後半で点を入れられて負 タイムアップ。後半はかなり、まりとしてのサッカー部は他のク 自分達の試合ができ、G・K ラブより劣らないと思う。だが、 田が混戦から入れて二点。そまだまだという感じがする。 せて一点。続いてP・Kを安 スピードの面を考えてみると、 ンタリングを田村が頭に合わだ体力的に劣っているのだろう。 から攻勢にでて、久保田のセけているケースが多い。やはりま スピリットの面では、個々の集 後半になってもパテなかった割

(3)

かねばならない。そしてそのため

今後サッカー部をどの

手チームが調子に乗ってきた時からのチームである。 の個々のせりあいにおいても、相はない。だから、まだまだ、これ まだもろさがある。例えば試合中」れ一つをとっても十分であるもの「なので部員はみんな喜んでいる。」をしたい。しかし「勝負より」と

対伏工戦2(20-00)0洛星 前半は優勢。攻めては石の神 った。F・Wのつめの甘さで ンスをものにしたのに対し、 良かったが、後半相手はチャ 悪く点にならず。守ってはキ よく上がったがF・Wのつめ 攻撃がさえ、センタリングが 田、左の安田からのオープン まれていないとよくある事だ。今がいると大変進みやすいのだが。 ためにチーム結成以来(昨年11月 | 方のキック力が弱い事、ジャンプ | のだが)。まず大いに部員の意見 | ラブを重視したチームでありなが こへは飛ばない。又、タックルをかパスはされいに通すな。とほめ 中旬)練習試合には勝っても公式(ヘディング、個人技(ドリブル・ わからない。これらは我チームのみんな独力で技術を上げてきた。 しているのに、タックルの仕方が できる範囲に敵がボールをキープられた事もあるぐらいである。 っていっても、ちゃんとインステいのが通る様になった。練習試合 はテクニックの面とかなり密接な」なさなら。しかし悪い所ばかりで一プにしたい。しかし、妥協ばかり「チームもそんなチームにしたいも 失点をしたりする。そして、その「キックカのない事、きき足でない ップ・キックができなかったらそで相手チームのコーチに、なかな 思ってすごい気迫でボールに向か|に使えるようになり、縦パスもい 連がりを持っている。あそこへともなく、横パスをある程度試合中 戦には勝てない。この精神力の面

トラップ e t c) も、精神的に負けてしまい、いらぬ ように新入部員が多くコーチに恵一今一歩である。 この一歩はコーチ このようにわずかずつながら、 他に細かい技術面をあげると、

|の目指すサッカー部というものを|う。しかし京都府の泉ケ丘中学の 一を聞き、それを取入れみんなが参 一かいてみる(まだボンヤリしたも)バスケット部は、この勝負よりク なってからまだ数ケ月だが、ほくない。ここがむずかしい所だと思 加して築いていく事のできるクラ | ニアスポーツ賞を貰っている。我 ぼくが二月中旬にキャプテンに

のである。 思います』と言っておられま いってもらいたい。そうしては の摩田先生がしておられ、この じめてコーチの言葉が生きると ように自分たちで反省し考えて ことについて顧問は『絶対にコ 〈編集部注:現在コーチは新任 ーチに頼らずに、今までと同じ

ら近畿大会で好成績を収め、ジュ

いう事は負けていいという事では

聞

Щ

間

17

述べた様に、我チームは38のど三なんとかコーチも捜せだせそう一ラブ自体を重視したチームづくり

サッカーというスポー ツをどのようにお考え

からいいドリブル・シュー

クをし五分五分。そして田

なおも二十五分頃に素 も知らなかった。こんな状態からるかをチーム全体で考えることを な状態でした。だから当然ルールす。どうしたら強いチームが作品 試合を見て今はやりの批評めいた。につきます。 近頃では何とかルールも覚えたし「顧問としての僕の願いはこのこと ャンネルを切りかえてしまっよう。ムプレーの中に生かされていき レビで中継をしていてもすぐにチられないことが、サッカーのチー 台は殆んど見たこともないし、テ一好きな言葉で現実にはなかなか見 顧問になるまではサッカー の試ひとりのために」という僕の一番 通じてこのことを学んでほしい。

サッカーの面白さを云々する資格ますが、サッカーを真面目にやっ はないと思っています。しかし側でいるということです。 て一諸に蹴りたくなるのですが一どのクラブの部員もそうだと思い で見ているだけの立場から考える 練習を見ているといつも中に入っ んど欠かさず見ています。 自分でボールを蹴らないのでー サッカーの面白さはチームプですが、彼らがサッカーをしてい 僕は、特に高校のサッカー部員 - これはサッカー部に限らず、

がいくら上主でもこれだけではよけないのですが、今日の高校教育 そうですが、チームの一人ひとり一極当然のことで何も立派なことで のプレイヤーと密接に関連して動 Ļ ある位置を占めなければならないとかよくあるのですが、サッカー 試合をするためにはプレイヤーの一なことに思えるのですー サッカーでは特にその傾向が強いしたいスポーツをすること自体至 名々がチームの中でとても責任の一 い試合はできない。チームがよいの実体の中では何にもまして立派 のことにあると思います。最近の「おれません。――高校生が自分の レーであるという至極あたりまえることに一種の敬意を払わずには 他方、チーム全体がその一人一部員を見ている時にそれが一番多 していると生徒の姿に感動するこ 教師を

|ッカーと勉強の両立――こつのう

第一は、「学校からの帰宅後、

主化」などと喜ぶのは愚の骨頂で

は若干の規定の変更を「洛星の民

に一人ひとりのプレイヤーはたえ とりはなんなのために、みんなは ず全体の中の自分というものを意 識していなければならない。「ひ」の申し出があった時は、その人の

現在のサッカー部を顧 てが決めていくということを通し

としてどういうものが 問としてほめるべき点 この習慣をわがサッカー部の誇り なクラブになってほしい。そして ある伝統にまで高めていければと し、反省し、計画する。このよう 今後のサッカー部は、この全員

することを両立させることの矛盾 か要望はございません サッカーをすることと勉強を

レツに勉強してほしいということ

「おされると奥ざんに余りにも負担

ようにしていこうとお

考えを全員で検討する。さばる者です。 らそれがどんな問題でも全員で話 し合うということです。休部、退部 慣の一つは、何か問題が起こった 全員討議の上で彼を批

まして大切なことを身につけてく

思います。 訂議を中心にして練習し、 試合 えないはずですから。

りません。

前に、ある先生が「エリートと

でしょう。

定いたしませんが、

難について深刻に悩みもっとモー をして、もっと勉強することの困 い方をすれば、もっと敵しく練習 うことがあります。それは別のい にもっともっと悩んでほしいとい

強をするからということだが、 体部、退部の理由の大部分が勉

一も今年も理由がはっきりしないの 重ねてクラブの本質をゆるがすよ る。)それから一つは勝負よりク はっきり 言って ほしいものであ 合は、やはりクラブの問題として ない場合もあるからだ。やめる場 から考えた事である。また、理由は うな意味ではない。(これは去年 に、クラブをやめていく人がいた わかってもその理由の納得のでき

我がサッカー部の最もよい習 ではなくて、 両者ともをどうやり 安易に考えている場合が多いよう ッカーをやめたら勉強ができると 抜くか――についてもっと悩んで ほしかったと思うことが多い。サ ちからどちらを選ぶかということ

ムーズに塩んでいるようには思え
も、サッカーをしながらやるのな て、クラブ員は学校で学ぶ何にもと、でも、こんなことを教師が一 ないが、この全員で話し合って全|ら本当の勉強だが、サッカーをや れるでしょう。授業以上に大切な一は思うのですが。日本の全ての良 話し合いそのものは小ずしもス一尾の豆草」で単語を覚えるにして 件を改善し、整備することを前提 めてやれば本当の勉強ではない、 にしなければこのようなことは言 識ある教師が一諸になって教育条 方的に生徒に言うのは無責任だと じことをじていても、例えば「赤 僕は近頃こう思っています。同 学校からはなれるとぬいでしまう 門のところではかぶっていても、 るほど多くなり、しかも年をおっ一持たずに京大へ突進するヨ。」と て増加してきました。その上、校いうものでなかったとしたら幸い をかぶっていない人は高学年にな」にもはいらず、女の子にも関心を

サッカー部に対して何 がクラブ活動にとっては何よりも うことです。狭い中で中・高の数 間的にも空間的にも狭すぎるとい 多くのクラブが練習をする。その けあげると、今のグランドでは時 要望はございませんか グランドについて何か 木曜日は使えないということ 大ありです。そのうち一つだ

くらいでしょう。

とは何ですか をしていて一番困るこ 部の顧問

サ ことになっていますから。 は日曜日の午前中は僕が洗濯する つらい。どうしても疲れが残るの 体みがつぶされることが一番

」とすれば、

う。それさ

も否定するなら、私してきたのではないでしょうか。

生徒心得につ

んでもかまいません。しかし、そ」は生きる意義を失います。

図のもとに行なわれたのか、どうも被及し、ひいては生徒心得全体 されましたが、これがどういう意一般化すると、それが他の規定に いう意義があるのか考えてみましの権威が失墜するおそれがあるか 先頃、生徒心得が一部「変更」」のでしょう。服装規定を破るのが

どと呼べるようなしろものではなっている事からもそれがうかがえま | 青で使用されているものです。) | まおうと思ったのでしょう。 いということです。(ちなみに、 ばならないのは、これが文字通りめたことも関係しているでしょ 長代理の「保護者各位へ」という文一うでもいいような規定はやめてし 「変更」であって、決して緩和なう。学校側がむきになって否定し まず、私たちが気をつけなけれ 「変更」という言葉は、ナドウ校一れて、実際に守られていなくてど この文書には、具体的に三つの す。生徒の不満がつのる事をおそ3、 それから、去年の退寮処分でも こういう事ですから、このよう す。私自身 いものになってしまいます。 定されるような髪の人が多くいま
な理由がまったくないのです。だ 現在の高Ⅲの中には、長髪と認一私が長髪にするのを禁止する正当 長

る人はまずみかけませんが、制帽がって、タバコも吸わず、喫茶店 ませんが、別な型、色彩の帽子着り」というのは何なのでしょう る権限があるのでしょうか。 に、校外の個人の行動まで東縛すです。ちなるに、生徒心得には少 でしょうか。いや、だいたい学校一うな言葉が実に四回も出てくるの の外出にまで制服をきているでしい」が二回と「洛星の生徒として いったい何人が、家に帰ったあとう文書には、「洛星の生徒らし 更」です。しかし、私たちの中の 家庭から外出する場合の制服着用 とを、学校はどうやって取締るの一てきます。文章の中に、おなじよ は自由になります。」という「変 用は出来ません。」といっていまか。 ょうか。それに、こんな校外のこの」「生徒としての」が各一回で 第二に「高校生は着帽を強制し」い「洛星の生徒としての自覚と誘 制帽以外の帽子をかぶってい なくとも七回でてきます。いった それが「俺は京話のヤツとはち 前記の「保護者各位へ」とい 「洛星の生徒らしさ」 かく整え、 そういう意味で、現在長髪を実行 頭を清潔に している人は偉いと思います。 いまだ

ある事を望みます。」というので一時に試験で選ばれてきたのだか すが、高Ⅲで学校のかばんをもっ 人も多く、これも取締りようがあ」いうとみんなは否定するが、エリ しきている人など、むしろ少ないちゃんと持つべきだ。」といった 第三に(制鞄は)「高校では指」いう意味なのだから、君たちはエ 以上のことからわかるように、 質素なもので ら、良い意味でのエリート意識をとう言いますと、かならず一との 事があります。「良い意味でのエーながらこの学校へはいってきたの一か。こんなに規則、規則でしばら トというのは『選ばれた者』と - ト意識」とは何だという疑問 ト意識を持つべきだ。中学の 私はその規則を認めないのです。 規則は前からあった。それを知り るほどと思われる根拠がなければ けないのでしょう。 という論理 私は「これが規則なのだから」 に納得しません。な

事だ。しかも、それを取締る方法。また、そういう非常に限定された。うと努力するより他ないでしょったいというような人間。 は何らかわりがありません。「生」た。だから「俺はあいつより試験」 が多くあるということはゆゆしい 徒心得の中に守られていないことの点は良かったぞ。」という意識 合法に行なわれていたことが いるようにかえただけです。『非 ていない規定を実際に行なわれては、さきに述べた考え方と同様に "合法"になっただけで、現実に|試験をうけて「選びぬかれ」まし 今回の「変更」は、実際に守られはさておくとしても、この考え方 をもっても誤りではありません。 私たちは確かに、中学のときに 校の悪いところをあらためていてくても幸せなマイホームをきずき ません。だとすれば、相対的に気 いの反論が出てきます。しかし、 にいった学校にはいって、その学 はめったに見つかるものではあり 凡なサラリーマンになって、小さ まさにそういう人間ー

なくするより他に方法がなかった。は、そのように非常に限定された。をもっていたからではないかと思 り」などというのは、とんでもな | 廃的でしょうか。 私はなにもベー がいつのまにか「俺は何でも人よ 無に入ったにすぎないのに、それ┃か。しかし音楽の木を見てみまし ものではない事は明白です。 「洛星の生徒としての自覚と跨 る事です。もしそうなるとしたら ルト……と、 長髪の人はいくらで として」という時に想定するの一則をつくった人達が、一種の偏見 の偉いのだ。 私が危惧するのは、たまたま各 そして、 でそれだけのことで 」という意識に変わ 学校が「洛星の生徒 アルト、ベートーベン、シューベ ょう。バッハ、ヘンデル、モーツ 施的だからとか、
だらしないと あるのでしょう。これは、この規 もいます。ペートーベンの曲は退 います。女のようだからとか、退 だいたいなぜ長髪禁止の規則が

に口論しなければならないのが嫌 ますが、先生と顔をあわせるたび 4、「自由への道」 衝動にかられる事がたびたびあり と思うのです。 生徒手帳の前の方に「自由への

も長髪にしたいという一から私は、長髪は解禁にすべきだ

したいのではありません。しかし

ーベンにあこがれるから長髪に

実行していません。 が減っています。 章なので、私が「3」で述べた事 縮」からの引用があり、うまい文 道」と駆するアラール校長の文章 前とうしろに「ヨハネ」と「詩

追うような型にしないこと。」と のはなぜでしょう。それは具体的 いう規定に基づいているはずで には、生徒心得の中の「頭髪は短」など一度に否定されてしまったか そもそも学校が長髪を禁止する 行に清潔にし、流行を しかしよく考えて見ましょう。 の印象を受けるかもしれません。 「規則は一種の手段であって決

はまったく満足だ、などというの一それを甘受する生気のないふぬけ だから、それを守るのが当然だ。れていても「何等の束縛も感じな も抵触するようです。しかし、な す。この規定には三つのことが昔 いやなら出てゆけ。」というたぐ | 流行を追うなという事には、どう | 文は次に 「決して自分の勝手な判 つ、すなわち、短髪という事と、 ことで長髪を取締るなら、これは どの学校を見ても、ここなら自分一な人間は、どんなに抑圧されても ぜ髪は短くしなければならないの 一般的に言って長髪の人はいつも こじつけと言わざるを得ません。 かれていますが、「清潔」という なぜ流行を追う事はい一守って下さい。負担になっても抵 しています。他のふた か。私はそうは思いません。そん 一極的に守ろうと心がけて下さい。」 一
終
も
感
じ
な
く
な
っ
た
時
」
そ
れ
こ
そ 一プ事件」で暴露されました。この っている学校側自身が規則を形骸 です。そして、今までの社会は、 のような人間です。人生の敗北者 結します。しかし、そうでしょ が本当の自由だというところに帰 は「皆さんがこの規則に何等の束 っている事は、まえの「エスケー して目的ではありません。」うっ というための布石であり、これ 抗があってもどうかこの規則を積 けません。ひたすらにこの規則を 断でその規則の価値を決めてはい 化して管理主義におちいってしま しまいそうです。しかし、そう言 かりすると、なるほどと肯定して い」人間が自由な人間でしょう

Na 8 3	洛	星	f 聞		1970. 6.	1 3 (4)
	当 (孝) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	(大見 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(計111 7 8 5 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 11111 1111 2 10 (平安) (平安) (平安) (平安) (平安) (平安) (平安) (平安)	山本、複・	第 23 回 総
Olek	$\underbrace{\frac{1}{6}}_{0}$ $\underbrace{\frac{1}{8}}_{0}$ $\underbrace{\frac{1}{7}}_{0}$	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	(種々決勝	(大皇) (大皇) (大皇) (大皇) (大皇) (大皇) (大皇) (大皇)	(年間) (本間)	115
O 回版		所 2 (111 1 2 (平安) (平安) (平安) (平安)	〇三同般 模 (101111 (1112) (1111) (1112) (1111) (1112) (112) (1		No. No.	T G
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	○1 年男子四百メートルリンー予選 ○1 年四百メートルリンー予選 (小阪・浦田 5秒 0 (松村・田中 50秒 0 (松村・田中 50秒 0	京極陸	走高跳3位	陸上 競 技 ^(影) ^(影) ^(影) ^(で) ^(с) ^(c)	で 変原 2 (1515 1110 (平安) (平安)	○車々決勝 2 (11 15) 0 横内 支原 2 (11 15) 0 横内 交勝 0 (5 15 15) 2 宮崎
1	2123	ベスト8 ル バレーボール 第111 433 73 第	決勝 6 2827 1 0 7 2925	ベスト8進出	○三年男子走高跳 石部 1×1-トル5 (3位入費)	○一年男子八百メートル予選 松村 2分2秒1 涌田 2分2秒0 (予選通過) ○同右決勝 2分13秒9 (2位入質)
度をた休い るての論もる 料 小口		では、	大月発行という事になりまます。連絡は中学内階局室まで 製刊第三号は遅れに遅れてって見ようという人を募集してい がたな洛星 新 聞の高 揚を目指し がたな洛星 新 聞の高 揚を目指し で、新局員を獲得する事に全力を で、新局員を獲得する事に全力を があずる事に全力を で、新聞を作	野な村 2 (2121 1718 0 吉川	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	松本・天野・中川・井一天ケ森
	で失敗の多い局員をうまく指導して失敗の多い局員をうまく指導して下さるものと期待しています。 宮山先生は新聞局の活動については 「編集方針などについては生まり自生生こまいせる。 新聞のみ	をという言もあり。 自分から第7 で仕事をやらしてもらうという事 はできなかった。しかし今回新聞 らえないか』と校長先生からもた のまれたので引き受けた」と言わ れました。 宮山先生は印刷技術に				雑記帳 今年度から新聞局の顧問を宮山 先生がして下さる事になりました。 今まで国語科の久保先生が新聞 うまで国語科の久保先生が新聞